

会 議 録

会議の名称	令和元年度第3回本庄市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	令和2年2月21日(金) 午後1時30分から 午後3時00分まで
開催場所	本庄市役所 職員厚生室
出席者	委員：委員11名 事務局：本庄市環境推進課/出牛課長、関根課長補佐、小林
欠席者	委員5名
議題 (次第)	1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 議題 本庄市のごみ減量化の取組について 4. その他 (株)カインズとの共同開発による水切り袋について 5. 閉会
配付資料	・第3回本庄市廃棄物減量等推進審議会次第 ・本庄市のごみ減量化の取組について(資料1) ・(株)カインズとの共同開発による水切り袋が発売(資料2)
その他特記事項	無し
主管課	経済環境部環境推進課

会議の経過	
発言者	発言内容・決定事項等
1. 開会	
事務局	開会のあいさつ
2. 会長あいさつ	
会長	会長のあいさつ
事務局	「本庄市廃棄物の排出の抑制及び適正処理の促進に関する規則第5条第2項」では、「審議会は、委員の2分の1以上の者の出席がなければ会議を開くことができない」と規定しております。本日、出席していただいております委員さんは16名中11名でありますので、定数に足りていることをご報告いたします。なお、本日の傍聴希望はありません。
会長	事務局より、配付資料の確認をお願いします。
事務局	配付資料の確認
3. 本庄市のごみ減量化の取組について	
事務局	本庄市のごみ減量化の取組について説明。
会長	皆様との協議の中で重点的に取り組んでいくものを絞り込んでいきたいと思いますが、その前に実際に取り組んでいるものとか、強化が必要であるなどの整理が必要でしょうか。事務局のほうで補足説明はございますか。
事務局	独自に資源物の回収を行っている企業・店舗を周知・紹介するについては、本庄市ごみ減量リサイクル協力店制度を行っており、積極的にリサイクルを行う企業等を市のホームページで掲載し周知しております。現在4店を認定しております。
委員	具体的に4店はどこですか。
事務局	フレッセイ児玉店、カインズ本庄早稲田店と児玉店、買取劇場本庄店となります。
事務局	次に、外国人へのごみ出し案内を分かりやすく周知するにつきましては、5カ国語のパンフレットの作成とホームページでカタログポケットにより、ごみの分け方・出し方を9カ国語で見ることができるようになっております。 食品ロスの減少については、3Rパネル展や、広報で埼玉県取組の紹介を行っております。次に、生ごみ・剪定枝処理に関することについては、後ほど紹介しますが、カインズとの共同開発の水切り袋を販売するなど取り組んでおります。次にコンポストの種類や作り方の案内につきましては、ごみ減量モニターの募集を行い、ダンボールコンポストの講習会を実施しております。補足としましては以上でございます。
会長	皆さまのほうからはどうでしょうか。これは一生懸命やっていくべき、このような取組があるとかご意見がありましたらお願いします。

様 式

委員	5月の一斉清掃の時に、何かできることを一緒にやるのが良いのではないのでしょうか。
委員	環境推進課とコミュニティ協議会で話し合っ何らかの活動をするというのは可能だと思います。学校応援団などで草刈りなどもやりますが、土が多く付いているので非常に重くなる。この土をいかに払うかが大事だと思います。その辺をうまくできればと思います。
委員	元小山川の清掃の時も同様に何か取組ができれば良いと思います。要は何かイベントの時にごみの削減に向けて、簡単なことでもできれば効果があるのではないかということです。
委員	自治会でも毎年、元小山川の清掃をしており、これは20年以上続いています。昔はテレビなどが、多く棄てられていたが継続することで少なくなりました。
委員	そのような機会に、一緒にできることを考えたら良いのではないか。
委員	ここに書かれていることは最もですが、取り組むにあたってもう少し背中を押してくれるものがあればと思います。それが先ほどのイベント時であったり、ケーブルテレビなどもありますので、ポイントを絞って繰り返し啓発していくことが大事だと思います。
会長	PRの充実とイベントと抱き合わせてもう少し促進することができないか、理解を深めたり、回収しやすい状況を作れないかとのことだったと思いますが、環境推進課が必ず関わってくることでですので、一度事務局のほうにお願いしたいと思います。他にございますか。
委員	ごみ減量・リサイクル協力店などは、表彰などはしているのでしょうか。
事務局	ステッカーと登り旗を配付しまして、ホームページに掲載することでPRを行っております。
委員	表彰されると、企業もPRになりますし、モチベーションも上がりますので考えてみてはいかがでしょうか。
事務局	実際に、店舗に訪問して働きかけはしたのですが、リサイクルに取り組んでいるのに、面倒であったり、本社の権限であったりと、なかなか登録してもらえないという状況はあります。
委員	その中でも、やってくれるところを探して当たってみれば良いのではないのでしょうか。担当が変われば変化がある場合もありますし、定期的に働きかけてみてはどうですか。
会長	企業にも色々な考えがあると思いますが、本庄市のほうでも、訪問が無理でも、手紙を書くとか方法はあると思いますので、書面で働きかけることもやっていっていただきたいと思います。
委員	自治会などの取組を紹介してもらっても良いのではないか。そうすればよくやっているところは更に良くなるし、そうでないところは意識を持ってもらえるのではないか。

委員	資源回収については、収集する場所が分かっていない方が多いと感じます。普通の収集所に出される方も多いですから周知が必要と思います。
委員	違う話になりますが、ラベルをはがしたペットボトルの処理については周知されているが、キャップに関しては知られていない。公民館に大量に持ってくる方もいるが市の広報では燃えるごみでと書かれている。結構集めている人は多いが、どこに持っていけばいいのかが周知されていないと感じます。
事務局	市のほうでは燃えるごみとしています。キャップの回収は社会福祉協議会でやっている事業ですので、市では、出すのであれば燃えるごみということで、強要ではありません。
委員	社会福祉協議会のほうでも、こういう場所で集めてますよというようなアピールが必要だと思います。
事務局	スペースの問題で置けないところもあるので、全部の公民館で設置というのも難しいのではないかと思います。
委員	ここには置けますよというのを明確にすれば良いのではないですか。
会長	少し整理させていただけますか。キャップの扱いをどうするのかということですが、何れの意見にしましても燃えるごみに出さないほうが良いということは一貫していると思います。であれば、プラスチックのリサイクルについて整理していただけたら良いのではないかと思います。回収場所を明確にしたら良いのではないかと、また、業者さんはペットボトルにキャップをつけたままのほうが良いと言っているのか、どうなのでしょう。
事務局	小山川クリーンセンターで売却の単価が下がるため、市としてはキャップをはずしてラベルをはがして出してくださいと案内しています。
会長	キャップが、燃えるごみにならないことが、審議会が目指す減量推進につながることでいいですね。ですので、具体的に回収場所や周知についてどうするのかを、いったん事務局のほうで預かってもらい、重要な取組事項として絞り込ませていただきます。
委員	世界情勢の影響で、資源として売っていたものが売れなくなっている。リサイクルとしては厳しい状況だと感じます。
会長	このような状況のなかで、廃棄物の減量について自治体としてどうするのが問われると思います。
委員	自治会で雑がみの回収を行っていますが、量は増えてきていますが、引き取る業者さんからはいつまで取れるかわからないと聞いています。そうするとそれがすべて燃えるごみとして処分せざるを得ないようになってしまいます。
会長	実際に焼却処分したほうが安く済むということもでてくると思いますが、環境負荷などのことを考えますと、それでいいという結論にはならないと思います。色々な議論をしていただき大体絞り込まれたかと思いますが、

	出た意見を事務局のほうでまとめて、検討していただくことでお預けしてよろしいでしょうか。
委員	リサイクルのほうが高いという現状はあるかと思いますが、できるだけごみにしないでリサイクルしていただければと思います。
会長	まとめさせていただくと、企業を評価するような仕組みの検討、PRについてはイベントとの抱き合わせで取組を強化するという2点について、生ごみ・剪定枝に関することについては、ダンボールコンポストは取り組んでいますので、肥料化を目的とした機具の購入補助であったり廉価販売になると思います。
委員	ダンボールコンポストの講習については関心が高く、反響が大きいですね。
会長	あとは、キャップのリサイクルをどうするか、また、市場価格が下がっている中でリサイクルの推進、ごみ減量をどのように行っていくかになると思いますが、そういったことを事務局のほうで整理をしていただくことでよろしいでしょうか。
会長	市民の皆さまと協働でないと進まないと思いますので、そういうことが重要になると思います。議論をいただいて大分煮詰まってきたと思いますので事務局のほうで整理をしていただくことでよろしいですね。
委員	異議なし
会長	では、他に何かございますか。ないようですので以上で議事を終了させていただきます、議長を降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。
4. その他	
事務局	(株)カインズとの共同開発による水切り袋についての説明
5. 閉会	
副会長	閉会のあいさつ

会長 小暮 ちえ子

